

POWER EGG2.0 Ver2.11c
スタートアップガイド
～ Web データベースの作成 応用編 ～

第 1 版
2017 年 7 月
ディサークル株式会社

改版履歴

版数	改版年月日	備考
1.0	2017/07/24	初版(POWER EGG2.0 Ver2.11c 版)

目 次

はじめに.....	1
第 1 章 データベース間の連携設定	2
1－1 WebDB 間連携項目フィールドの作成.....	2
1－2 連携データベースの一覧表示画面の配置	7
1－3 連携データベースの表示編集画面の配置	11
第 2 章 Excel 出力機能の設定	14
2－1 Excel テンプレートファイルの作成.....	15
2－2 表示編集画面への Excel 出力機能の設定	16
第 3 章 表示項目制御／必須項目制御の設定	18
3－1 表示項目制御の設定	20
3－2 必須項目制御の設定	23
第 4 章 操作制限の設定	26
4－1 操作制限の設定	27

はじめに

スタートアップガイド ～Web データベースの作成 応用編～では、Web データベースのご紹介いたします。

なお、当資料ではスタートアップガイド ～Web データベースの作成 基本編～で作成方法をご紹介した、社内です使用する PC 情報を管理するデータベース「PC 管理台帳」をベースに拡張的な機能を設定する方法をご紹介します。

第1章 データベース間の連携設定

入力形式「WebDB 間連携項目」のフィールドを利用することにより、特定のフィールドを連携キーとして、POWER EGGにて作成したデータベース間で連携を行うことができます。

連携を行うと、レコード登録時に連携先のデータベースから値を選択して登録を行うことができ、さらに、レコード内容表示画面にて項目値に該当する関連データベースのレコードを参照したり、そのデータベースのレコード登録画面を起動したりできるようになります。

なお、連携するデータベースは、あらかじめ作成しておく必要があります。

1-1 WebDB 間連携項目フィールドの作成

まずは、データベースを連携させるためのフィールド設定を行きましょう。
これにより、レコード登録画面で連携先データベースから値を選択できるようになります。

レコード登録時のデータ参照

データベース「ソフトウェア使用状況管理」のレコード登録画面

ソフトウェア使用状況管理 レコード登録

確認 確認せずに登録 キャンセル

* は必須項目です。

PC * 削除

インストール日

ソフトウェア名 *

バージョン

最終更新者 最終更新日時

確認 確認せずに登録 キャンセル

レコード選択

管理番号	コンピュータ名
☐ 201401-PC	pc1
☐ 201402-PC	pc2
☐ 201404-PC	pc5
☐ 201405-HDD	pc4
☐ 201406-PC	pc8
☐ 201408-HDD	pc99
☐ 201408-PC	pc9
☐ 201601-PC	XXXX-XXXX
☐ 201602-PC	XX-YYYYYYYY
☐ 201603-PC	XXXXXXXXXXXX

レコード選択画面(「PC 管理台帳」のデータから選択)

キャンセル 確定

「WebDB 間連携項目」フィールド

上記は、データベース「PC 管理台帳」と「ソフトウェア使用状況管理」で連携を行う場合の例です。

「ソフトウェア使用状況管理」は、どの PC にどんなソフトウェアがインストールされているかを管理するデータベースを想定しており、「PC 管理台帳」から登録済みの PC を選択してレコード登録を行います。

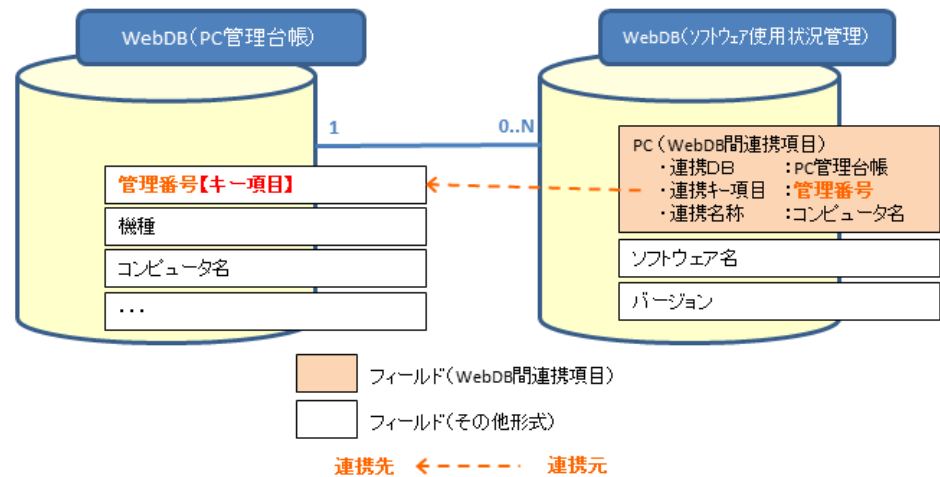
この場合、データベース「ソフトウェア使用状況管理」に入力形式「WebDB 間連携項目」のフィールド(上記例では「PC」)を作成し、連携先 DB として「PC 管理台帳」を指定します。さらに、連携キーとして「管理番号」を、連携名称として「コンピュータ名」を「PC 管理台帳」のフィールドから選択します。

レコード登録画面でデータを選択すると、連携名称（上記例ではコンピュータ名“PC1”）が登録画面に表示されます。

■「ソフトウェア使用状況管理」に WebDB 間連携項目「PC」を作成しよう ■

① 事前に、以下のように各データベースを作成しておきます

■設定イメージ(データベースとフィールド)



■データベース「PC 管理台帳」 設定例

使用目的	パソコンおよび備品・周辺機器の管理
フィールド	管理番号(「キー項目」として設定)、機種、コンピュータ名、...

■データベース「ソフトウェア使用状況管理」 設定例

使用目的	PC へのソフトウェアインストール情報の管理
フィールド	PC [WebDB 間連携項目]、インストール日、ソフトウェア名、バージョン...

データベース「ソフトウェア使用状況管理」のフィールド設定で新規作成画面を起動し、形式「WebDB 間連携項目」を選択して以下のように設定を行います。

ソフトウェア使用状況管理 フィールドの設定

登録

キャンセル

* は必須項目です。

形式

WebDB間連携項目

形式を選択してください。

フィールド名 *

PC

フィールドの名称を入力してください。

入力ガイダンス

入力画面にガイダンスを表示する場合に入力してください。

入力必須 ☒ 入力必須にする

入力必須かどうかを指定してください。

キー項目 ☐ キー項目として設定する

チェックすると、同一データベース内に同一の値は入力できなくなります。

連携データベース *

検索して指定

PC管理台帳

削除

利用するWebデータベースを選択してください。

連携キー項目 *

管理番号

利用するWebデータベースのキーフィールドを設定してください。

連携名称項目 *

コンピュータ名

名称フィールドを設定してください。

表示項目

絞り込み条件に指定した権限設定は適用されません。

再利用 ☐ 参照作成時元データをコピーする

チェックすると、参照作成時、元のデータをコピーします。

連携先レコード ☒ エラーにする

削除時の動作 *

☐ 空白で更新する

連携先のレコードを削除した時の動作を指定してください。

項目	入力内容
フィールド名	PC
入力必須	チェックあり
キー項目	チェックなし
連携データベース	「PC管理台帳」を選択
連携キー項目	管理番号
連携名称項目	コンピュータ名
連携先レコード削除時の動作	「エラーにする」を選択

- 4 -

All Rights Reserved Copyright© D-Circle Inc,

◀ Point

連携キー項目について

指定できるのは、レコードの値が一意になる(キー項目に指定できる)以下形式のフィールドのみです。なお、設定後は変更できません。

レコード No(システム標準項目)、文字列(1行)、自動採番、WebDB 間連携項目

連携名称項目について

指定できるのは、文字列(1行)のフィールドのみです。

連携先レコード削除時の動作について

レコード選択画面で選択したデータ(上記例では「PC 管理台帳」のレコード)を削除しようとしたときの動作を設定します。

“エラーにする”を選択した場合、連携先のレコードを削除しようとした場合にエラーメッセージが表示され、削除できません。

“空白で更新する”を選択した場合、連携先のレコードの削除が可能となり、同時にこのフィールドの登録値が空白で更新(クリア)されます。そのため、連携キー項目で紐づいていたデータベース間の連携がなくなります。

◀ 参考

- レコード選択画面で選択させたいデータを制限したい場合は、「絞り込み条件」を指定します。「絞り込み条件」は、あらかじめ、連携データベースの設定画面で作成しておく必要があります。
- レコード選択画面でキーワード検索の機能を利用する場合は、「検索設定」で“キーワード検索を使用する”を選択します。
- レコード選択画面において、連携キー項目、連携名称項目で指定した項目の他に追加で表示させたい項目がある場合は、「表示項目」を指定します(最大3つまで指定可能)。

＜キーワード検索、追加表示項目を設定している場合のレコード選択画面＞

The screenshot shows a 'Record Selection' dialog box. On the left, there is a search filter section with a 'Keyword Search' checkbox and a text input field for the keyword, followed by a 'Search' button. The main area contains a table with the following columns: 'Management No.', 'Computer Name', 'Manufacturer', and 'Device Type'. The table lists various records, including PCs, HDDs, and printers. A red box highlights the search filter section, and another red box highlights the 'Manufacturer' and 'Device Type' columns of the table.

管理番号	コンピュータ名	メーカー	機種
200604-PC	PC0013	N社	VALURSTAR
200701-PC	PC0020	F社	DESKPOWER
201001-PC	PC0030	N社	VALURSTAR
201002-PC	PC0031	N社	VALURSTAR
201003-PC	PC0032	N社	VALURSTAR
201004-PR	PR0001	その他	レーザープリンタ
201101-PC	PC0040	F社	ESPRIMO B531/D
201102-HDD	HD0100	その他	USBハードディスク
201103-HDD	HD0110	その他	USBハードディスク
201104-HDD	HD0300	その他	外付けハードディスク
201201-PC	PC0050	N社	VALURSTAR
201202-PC	PC0051	N社	VALURSTAR
201203-PC	PC0052	N社	VALURSTAR

以上で、フィールドの作成は完了です。

作成したフィールドを表示編集画面に配置し、レコード登録を行ってみましょう。

なお、「WebDB 間連携項目」によって他から連携されているデータベースは、下図のようにデータベース設定画面に WebDB 間連携情報が表示されます。

連携先データベース「PC 管理台帳」のデータベース設定画面

データベースの登録

システム管理

< >

PC管理台帳 データベースの設定

← 戻る

編集

その他の操作▼

→ 明細行設定

レコード一覧

ロック解除

大石 学さんがロック中です。

データベース名

PC管理台帳

アクセス権限情報

会社	設定範囲	権限
フレンド商事	社員 (大石 学)	データベース管理者
フレンド商事	社員 (大木 明)	データベース管理者
全会社		参照可

備考 パソコンおよび備品・周辺機器を管理する

説明 スタートアップガイドの操作練習用に使用しています。

コメント欄
使用有無 使用する

関連情報URL
使用有無 使用する

明細行有無 有り

使用区分 使用中

フォルダ名 操作練習用フォルダ

最終更新者 大石 学

最終更新日時 2017/01/13 (金) 18:13

WebDB間連携情報

フィールド名	連携元データベース名	連携元フィールド名	削除時動作
管理番号	ソフトウェア使用状況管理	PC	エラーとする

← 戻る

編集

その他の操作▼

→ 明細行設定

レコード一覧

ロック解除

1-2 連携データベースの一覧表示画面の配置

10-1 のフィールド設定後、データ参照により実際にソフトウェア使用情報を登録すると、連携キー項目によりデータが紐づきます。

連携先レコードの内容表示画面を開いた場合に、そのレコードに紐づいている関連データを同時に一覧表示させるための設定を行います。

内容表示画面に連携データの一覧を表示

The screenshot shows the 'PC Management Record Detail' page. At the top, there are buttons for 'Edit', 'Delete', 'Back', and 'Print'. Below these is a dropdown menu for 'Display Detail Screen' set to 'Lease Information Record'. The main content area is divided into two sections. The top section contains fields for 'Management Number' (201408-PC), 'Purchase Date' (2014/08/05), 'Manufacturer' (T社), 'Management Department' (総務部), 'Attached Item', 'Purchase Category' (リース), 'Lease Company', 'Lease End Date' (2016/08/31), 'Monthly Lease Fee' (10,000円), 'PC Health Check Result' (良好), and 'Disposal Date'. The bottom section is titled '<Repair History>' and contains a table with columns: 'Request Date', 'Content', 'Amount', 'Requester', and 'Return Date'. Below this table is a section for 'Software Usage Management' with a table containing columns: 'PC', 'Install Date', 'Software Name', and 'Version'. The 'PC' column has a dropdown menu with 'PC' selected, and the 'Version' column has a value of '10.1'. A red box highlights the 'Software Usage Management' section, and a red arrow points from the 'PC' dropdown to the caption below.

管理番号	201408-PC
購入日	2014/08/05 (火)
メーカー	T社
管理部門	総務部
付属品	
購入区分	リース
リース会社	
リース満了予定日	2016/08/31 (水)
月額リース料	10,000円
PC健康診断結果	良好 概ね良好 普通 問題あり
廃棄日	

依頼日	内容	金額	依頼業者	返却日
登録日時/登録者	最終更新日時/最終更新者			
2014/10/09 (木) 15:02 大石 学	2015/03/09 (月) 18:24 大石 学			

PC	インストール日	ソフトウェア名	バージョン
pc9		Windows Me	10.1

「PC9」の関連レコード一覧（データベース「ソフトウェア使用状況管理」一覧画面）

上記は、データベース「PC 管理台帳」の内容表示画面内に、「ソフトウェア使用状況管理」の関連データの一覧を表示する場合の例です。

“PC9”というPCに対してソフトウェアの使用状況のレコードが複数登録されており、“PC9”のレコード内容を表示した場合、その関連データを同時に表示することができます。

また、データベース「ソフトウェア使用状況管理」の新規レコードを登録する権限がある場合は、一覧の左上に新規登録用のリンクが表示され、直接登録画面を起動することもできます。

（上記例では“使用ソフト登録”リンク）

このように、あるデータベースのレコード1件に対し連携するレコードを複数件登録できる場合は、内容表示画面に一覧画面を表示することができます。

上記例では、「ソフトウェア使用状況管理」の WebDB 間連携項目“PC”はフィールド作成時に【キー項目】という設定がされていない為、「PC 管理台帳」のレコード1件に対し「ソフトウェア使用状況管理」のレコードが複数件登録できるため、一覧を表示させることができます。

■「PC 管理台帳」の表示編集画面に「ソフトウェア使用状況管理」の一覧表示画面を配置しよう

① 事前に、各データベースに以下のように画面を作成しておきます。

■データベース「PC 管理台帳」 設定例

・表示編集画面

項目	入力内容
表示編集画面名	リース情報登録
使用方法	「編集時に使用する」のみ選択
アクセス権限情報	フレンド商事(部門:システム部)／参照・編集可 フレンド商事(部門:総務部)／参照・編集可 全社共通(全員)／参照可
レイアウト	任意(管理番号、機種、コンピュータ名、…)

■データベース「ソフトウェア使用状況管理」 設定例

・表示編集画面

項目	入力内容
表示編集画面名	使用ソフト登録
使用方法	「新規登録に使用する」「編集時に使用する」を選択
アクセス権限情報	フレンド商事(部門:システム部)／参照・編集可 フレンド商事(部門:総務部)／参照・編集可 全社共通(全員)／参照可
レイアウト	任意(PC、インストール日、ソフトウェア名、バージョン…)

・一覧表示画面

項目	入力内容
一覧表示画面名	使用ソフト一覧
アクセス権限情報	全社共通(全員)／参照可
表示方法	一覧表示
レイアウト	任意(PC、インストール日、ソフトウェア名、バージョン…)

- ② 表示編集画面「PC リース情報」のレイアウト編集画面を表示します。
- ③ 左ペインのレイアウト選択パネルに、一覧表示画面のレイアウトが表示されます。選択し、右ペインの一番下ヘドラッグ＆ドロップしてください。

データベースの登録

システム管理

PC管理台帳 リース情報登録 レイアウト編集

設定 キャンセル プレビュー

管理番号

購入日

メーカー

管理部門

付属品

購入区分

リース会社

リース満了予定日

月額リース料

PC健康診断結果

廃棄日

<修理履歴>

修理履歴詳細

1行目

2行目

登録日時/登録者

最終更新日時/最終更新者

登録日時 登録者

最終更新日時 最終更新者

入力項目

装飾項目

- ④ レイアウト設定画面が表示されます。連携先 DB「ソフトウェア使用状況管理」、一覧表示画面に「使用ソフト一覧」、WebDB 間連携項目に「PC」を指定し、[OK]をクリックしてください。

レイアウト設定

レイアウト情報

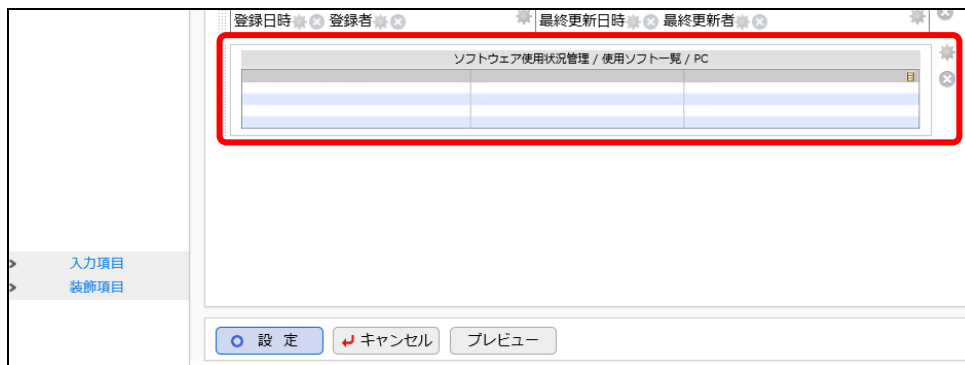
連携先DB * ソフトウェア使用状況管理

一覧表示画面 * 使用ソフト一覧

WebDB間連携項目 * PC

OK キャンセル

指定した連携データベースの一覧のレイアウトが配置されます。



設定を確定し、実際のレコード登録画面からデータを登録して連携データが表示されることを確認してください。

Point

- レイアウト内に配置できる一覧表示画面が一つ以上存在する場合のみ、レイアウト選択パネルに一覧表示画面のレイアウトが表示されます。
- 「一覧表示画面」と「WebDB 間連携項目」の組み合わせが同一のレイアウトは複数配置できません。
- レイアウト内に配置できる一覧表示画面は、表示方法に「一覧表示」が指定されているもののみとなります。「カテゴリ表示」が指定されている画面は配置できません。
- レコード内容表示画面で関連データの一覧を表示するには、レイアウト内に配置する一覧表示画面に対しても参照権限が必要です。利用するユーザに応じて、一覧表示画面のアクセス権限も設定を行ってください。
- レコード内容表示画面で表示できる一覧の件数は最大 10 件までとなります。すべてのデータを参照するには、[すべてを見る...]リンクをクリックします。

1-3 連携データベースの表示編集画面の配置

連携元レコードの内容表示画面を開いた場合に、そのレコードに紐づいている関連データの内容を同時に表示させるための設定を行います。

内容表示画面に連携データの内容を表示

ソフトウェア使用状況管理 レコード内容表示

編集 削除 戻る 印刷 参照作成 ◀前 ▶次

表示編集画面 使用ソフト登録 ▼

PC	pc9
インストール日	
ソフトウェア名	Wintouws Me
バージョン	10.1
最終更新者	最終更新日時
大石 学	2017/01/13 (金) 18:57

管理番号	201408-PC		
購入日	2014/08/05 (火)	コンピュータ名	pc9
管理部門	総務部	機種	DESKPOWER
購入区分	リース		

編集

「PC9」のレコード内容 （データベース「PC 管理台帳」内容表示画面）

上記は、データベース「ソフトウェア使用状況管理」の内容表示画面内に、「PC 管理台帳」のデータ内容を表示する場合の例です。

ソフトウェア情報を登録する際に“PC9”という PC を選択しており、その選択元の“PC9”のレコード内容を同時に表示することができます。

また、データベース「PC 管理台帳」の内容表示に使用している表示編集画面に編集権限がある場合、内容の左下に[編集]ボタンが表示され、直接内容を編集することもできます。

このように、内容を表示するレコード1件に対し連携するレコードが1件の場合は、内容表示画面内にさらに関連レコードの内容を表示することができます。

上記例では、「ソフトウェア使用状況管理」のレコード登録時に「PC 管理台帳」のレコード1件を選択する為、関連データは1件の状態となり、内容を表示できます。

■「ソフトウェア使用状況管理」の表示編集画面に「PC 管理台帳」の表示編集画面を配置しよう

- ① 事前に、各データベースに以下のように画面を作成しておきます。

■データベース「PC 管理台帳」 設定例

・表示編集画面

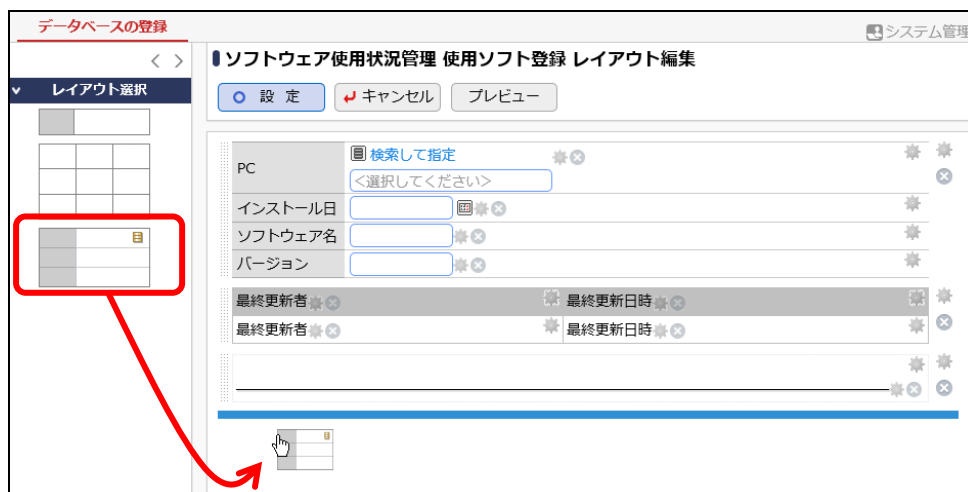
項目	入力内容
表示編集画面名	PC登録(連携用)
使用方法	「編集時に使用する」のみ選択
アクセス権限情報	フレンド商事(部門:システム部)／参照・編集可 全社共通(全員)／参照可
レイアウト	任意(管理番号、機種、コンピュータ名、…)

■データベース「ソフトウェア使用状況管理」 設定例

・表示編集画面

項目	入力内容
表示編集画面名	使用ソフト登録
使用方法	「新規登録に使用する」「編集時に使用する」を選択
アクセス権限情報	フレンド商事(部門:システム部)／参照・編集可 フレンド商事(部門:総務部)／参照・編集可 全社共通(全員)／参照可
レイアウト	任意(PC、インストール日、ソフトウェア名、バージョン…)

- ② 表示編集画面「使用ソフト登録」のレイアウト編集画面を表示します。
- ③ 左ペインのレイアウト選択パネルに、表示編集画面のレイアウトが表示されます。選択し、右ペインの一番下ヘドラッグ＆ドロップしてください。



- ④ レイアウト設定画面が表示されます。連携先 DB「PC 管理台帳」、表示編集画面に「PC 登録（連携用）」、WebDB 間連携項目に「PC」を指定し、[OK]をクリックしてください。



指定した連携データベースの表示編集画面のレイアウトが配置されます。



設定を確定し、連携データが表示されることを確認してください。

◀ Point

- レイアウト内に配置できる表示編集画面が一つ以上存在する場合のみ、レイアウト選択パネルに表示編集画面のレイアウトが表示されます。
- 「表示編集画面」と「WebDB 間連携項目」の組み合わせが同一のレイアウトは複数配置できません。
- すでにレイアウト内に別の表示編集画面や一覧表示画面を配置している表示編集画面は使用できません。
- レコード内容表示画面で関連データの内容を表示するには、レイアウト中に配置する表示編集画面に対しても参照権限が必要です。利用するユーザに応じて、表示編集画面のアクセス権限も設定を行ってください。
- レイアウト内に配置した表示編集画面にスタンプ項目が含まれていた場合、内容表示画面ではスタンプは使用できません（表示のみとなります）。

第2章 Excel 出力機能の設定

Excel 出力機能を設定することにより、レコード一覧表示画面やレコード内容表示画面からレコードの内容を Excel に出力できるようになります。

Excel 出力機能は、一覧表示画面／表示編集画面ごとに設定することができます。

なお、出力用の Excel テンプレートファイルをあらかじめ作成しておく必要があります。

ここでは、データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」に Excel 出力機能を設定します。

レコード内容表示画面に配置した出力用ボタンから Excel ファイルを出力

データベース「PC 管理台帳」のレコード内容表示画面「新規登録」

依頼日	内容	金額	依頼業者	返却日
2015/07/01 (水)	メモリ交換	20,000円	〇×サービス	2015/07/08 (水)
2015/12/05 (土)	メモリ増設	15,000円	〇×サービス	2015/12/05 (土)

PC管理情報			
管理番号		201402-PC	
購入日	2014/2/5	コンピュータ名	pc2
メーカー	F社	機種	ESPRIMO B531/D
管理部門	システム部		
付属品	マウス, キーボード		
購入区分	リース		
リース会社	〇×リース		
リース満了予定日	2016/2/29		
月額リース料	¥5,000	再リース	
PC健康診断結果 良好 大石 学 2017/01/18 (水) 10:48			
廃棄日			
<修理履歴>			
依頼日	依頼業者	金額	返却日
2015/7/1	〇×サービス	¥20,000	2015/7/8
2015/12/5	〇×サービス	¥15,000	2015/12/5

2-1 Excel テンプレートファイルの作成

まずは、出力用のテンプレートファイルの作成を行きましょう。出力する項目と出力形式、レイアウトを設定します。

■ レコード内容表示画面から出力する Excel テンプレートファイルを作成しよう ■

以下の内容でテンプレートファイルを作成します。

単一項目形式による設定

一覧表示形式による設定

◀ ポイント

- 単一項目形式で出力したい場合は\${項目名}、一覧表示形式で出力したい場合は\$\$[出力する項目名を一覧の左の列から順に半角カンマ区切りで指定]の形式で指定します。
- サポート対象 Excel のバージョンは 2007～2016 となります。
- Excel 2007 形式(拡張子.xlsx)で作成する必要があります。Excel 2003 形式(拡張子.xls)はテンプレートとして指定できません。
- ブックの先頭シートで設定を行ってください。
- テンプレートファイル作成時のその他注意事項、出力項目の設定方法の詳細については、ユーザーズマニュアル データベース作成編の「付録 Excel 出力機能のテンプレートファイル」を参照してください。

2-2 表示編集画面への Excel 出力機能の設定

表示編集画面に Excel 出力の設定を行います。

■ 表示編集画面「新規登録」に Excel 出力機能を設定しよう ■

- ① データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」の編集画面を起動し、「Excel 出力を使用する」にチェックを入れてください。

PC管理台帳 表示編集画面編集

変更 削除 キャンセル レイアウト編集

* は必須項目です。

表示編集画面名 * 新規登録

アクセス権限情報 権限を設定

会社	設定範囲	権限
フレンド商事	部門（システム部）	参照・編集可
全会社		参照可

使用方法 ☒ 新規登録に使用する
☐ 編集時に使用する
 どちらかまたは双方をチェックしてください。

操作制限 ☐ 操作制限を有効にする
 「その他設定：操作制限設定」を有効にする場合チェックしてください。

使用区分 ☒ 使用する ☐ 使用しない

表示項目制御 ☐ 入力した値によって項目の表示を制御する

必須項目制御 ☐ 入力した値によって項目の入力必須を制御する

Excel出力 ☐ Excel出力を使用する
 Excel出力機能を使用する場合はチェックしてください。

登録時アクション

- ② Excel 出力設定欄が表示されるので、以下のように設定を行います。

必須項目制御 ☐ 入力した値によって項目の入力必須を制御する

Excel出力 ☒ Excel出力を使用する
 Excel出力機能を使用する場合はチェックしてください。

ボタン名 * PC情報出力
 Excel出力を実行するボタンの名称を設定してください。

テンプレート * 添付ファイルを追加(計1件)
☐ 出力(内容表示).xlsx(11KB)
☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除 ☒ 選択したファイルを削除
 出力項目を定義したExcelファイル(.xlsx)を指定してください。

出力ファイルの保護 ☐ 読み取りをパスワードで保護する ☒ シートをパスワードで保護する
 出力したExcelファイルのパスワード保護を設定します。「読み取りをパスワードで保護する」場合はファイルを開く時に、「シートをパスワードで保護する」場合はファイルを編集する時に、それぞれパスワードが必要となります。

パスワード * poweregg
 ファイルを保護するパスワードを設定してください。

項目	入力内容
ボタン名	PC情報出力

項目	入力内容
テンプレート	2-1 Excelテンプレートファイルの作成で作成したファイルを選択
出力ファイルの保護	「シートをパスワードで保護する」を選択
パスワード	任意のパスワードを入力

◀ Point

出力ファイルの保護について

出力した Excel ファイルのパスワード保護を設定します。「シートをパスワードで保護する」を選択した場合はファイルを編集する時にパスワードが必要になります。「読み取りをパスワードで保護する」を選択した場合はファイルを開く時にパスワードが必要になります。

以上で、設定は完了です。

なお、Excel 出力機能は一覧表示画面への設定も可能です。設定方法は表示編集画面と同じです。一覧表示画面の編集画面にて同じ手順で設定を行います。

第3章 表示項目制御／必須項目制御の設定

表示編集画面にて表示項目制御／必須項目制御を設定することで、ユーザのレコード登録画面で入力値に応じて項目の表示・非表示、必須・省略可を切り替えることができます。

表示項目制御は表示編集画面のレイアウト編集画面であらかじめ指定したブロック(標準レイアウト、カスタムレイアウト)単位で設定します。また、制御する項目と制御される項目はレイアウト編集画面にて異なるレイアウト上に配置されている必要があります。

必須項目制御の制御する項目と制御される項目はレイアウト編集画面にて同じレイアウト上に配置されている必要があります。

ここでは、データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」にて、購入区分が“リース”の場合にリース情報入力欄を表示する表示項目制御設定を行います。

購入区分の選択値によってリース情報入力欄の表示・非表示を制御

「購入区分」が“リース”の場合

The screenshot shows the 'PC Management Ledger Record Registration' form. The 'Purchase Category' (購入区分) dropdown is set to 'Lease' (リース), which is highlighted with a red box. Other fields include 'Management Number' (管理番号) 201404-PC, 'Purchase Date' (購入日) 2014/04/05, 'Computer Name' (コンピュータ名) pc5, 'Manufacturer' (メーカー) N社, 'Model' (機種) VALURSTAR, 'Department' (部署) 総務部, and 'Attachments' (付属品) キーボード.

「購入区分」が“リース”以外の場合

The screenshot shows the same form as above, but the 'Purchase Category' (購入区分) dropdown is now set to 'Fixed Asset' (固定資産), which is highlighted with a red box. The 'Attachments' (付属品) field is empty.

また、データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」にて、メーカーが“その他”の場合に「購入日」と「付属品」を必須入力にする必須項目制御設定を行います。

メーカーの選択値によって購入日、付属品の必須入力を制御

「メーカー」が“その他”の場合

■PC管理台帳 レコード登録			
<input checked="" type="button" value="確認"/> 確認せずに登録 キャンセル			
* は必須項目です。			
購入日を入力してください。			
付属品を入力してください。			
管理番号 *	201404-PC		
購入日 *		コンピュータ名 *	pc5
メーカー *	その他 ▼	機種 *	VALURSTAR
管理部門	検索して指定 総務部 削除		
付属品 *	 キーボード、マウスなど付属品が含まれる場合は、付属品の名称等を入力してください。		
購入区分 *	☐ リース ☒ 固定資産 ☐ 消耗品		
PC健康診断結果			

「メーカー」が“その他”以外の場合

■PC管理台帳 レコード登録			
<input checked="" type="button" value="確認"/> 確認せずに登録 キャンセル			
* は必須項目です。			
管理番号 *			
購入日 *		コンピュータ名 *	
メーカー *	N社 ▼	機種 *	
管理部門	検索して指定 <選択してください>		
付属品	 キーボード、マウスなど付属品が含まれる場合は、付属品の名称等を入力してください。		
購入区分 *	☐ リース ☐ 固定資産 ☐ 消耗品		
PC健康診断結果			

3-1 表示項目制御の設定

■ 表示編集画面「新規登録」のレイアウトを調整しよう ■

表示項目制御を設定するための準備として、表示編集画面「新規登録」のレイアウトを調整します。

- ① データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」のレイアウト編集画面を起動し、以下の通り標準レイアウトを配置し、「購入区分」フィールドを移動してください。

データベースの登録

システム管理

PC管理台帳 新規登録 レイアウト編集

設定 キャンセル プレビュー

管理番号

購入日

メーカー

管理部門

付属品

購入区分

リース会社

リース満了予定日

月額リース料

コンピュータ名

機種

検索して指定

<選択してください>

sample1 sample2

円

再リース

Point

制御対象はレイアウト単位で指定します。制御する項目は制御対象のレイアウトとは異なるレイアウト上に配置する必要があります。
この例では、制御する項目である「購入区分」フィールドは、制御対象のリース情報入力欄とは異なるレイアウト上に配置する必要があります。

- ② つぎに、リース情報入力欄のレイアウトを以下のように調整してください。

データベースの登録

PC管理台帳 新規登録 レイアウト編集

レイアウト選択

設定 キャンセル プレビュー

管理番号 購入日 メーカー 管理部門 付属品 購入区分

リース会社 リース満了予定日 月額リース料 再リース

- ③ リース情報入力欄のレイアウト設定で以下の設定を行ってください。

レイアウト設定

レイアウト情報

列数 * 行数 * 枠線

表示制御 入力した値によって表示を制御する

ブロック名 * リース情報入力ブロック

OK キャンセル

項目	設定内容
表示制御	「入力した値によって表示を制御する」にチェック
ブロック名	リース情報入力ブロック

- ④ [設定]ボタンをクリックして、表示編集画面の編集画面へ戻ります。

■ 表示編集画面「新規登録」に表示項目制御を設定しよう ■

- ① 表示編集画面「新規登録」の編集画面の[表示項目制御]で「入力した値によって項目の表示を制御する」にチェックを入れ、[項目]欄で「購入区分」を選択してください。

使用方法 ☒ 新規登録に使用する
☐ 編集時に使用する
 どちらかまたは双方をチェックしてください。

操作制限 ☐ 操作制限を有効にする
 「その他設定：操作制限設定」を有効にする場合チェックしてください。

使用区分 ☒ 使用する ☐ 使用しない

表示項目制御 ☒ 入力した値によって項目の表示を制御する

項目 * 購入区分
項目の表示/非表示を制御する制御元の項目を選択してください。

判定条件

表示/非表示の判定条件	条件に該当した場合に表示するブロック
条件に該当しない場合	☐ リース情報入力ブロック ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除

判定条件を入力してください。
 入力された条件がここに表示されます。
[条件を追加](#)

※上位のレコードから判定し、最初に該当した条件が適用されます。

Point

[項目]欄では制御する項目を選択します。選択できる入力形式は、フラグ、ラジオボタン、ドロップダウンリスト、スタンプ項目、部門選択、社員選択、複数社員選択です。

- ② [条件を追加]リンクをクリックして、以下の通り設定してください。

表示項目制御 ☒ 入力した値によって項目の表示を制御する

項目 * 購入区分
項目の表示/非表示を制御する制御元の項目を選択してください。

判定条件

表示/非表示の判定条件	条件に該当した場合に表示するブロック
条件に該当しない場合	☐ リース情報入力ブロック ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除
表示/非表示の判定条件 ☒ リース ☐ 固定資産 ☐ 消耗品 ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除 同じレコードに判定条件が複数登録されている場合はいずれかの条件が該当しているときに制御が有効になります。	☒ リース情報入力ブロック ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除

判定条件を入力してください。
 入力された条件がここに表示されます。

※上位のレコードから判定し、最初に該当した条件が適用されます。

項目	設定内容
表示/非表示の判定条件	「リース」を選択
条件に該当した場合に表示するブロック	「リース情報入力ブロック」を選択

- ③ [追加]ボタンをクリックします。
追加した条件が表示されます。

◀ Point

設定した条件に該当しない場合に表示させたいブロックがある場合は、[判定条件]欄の上部で設定します。

- ④ [変更]ボタンをクリックします。

3-2 必須項目制御の設定

■ 表示編集画面「新規登録」に必須項目制御を設定しよう ■

「メーカー」が“その他”の場合に「購入日」と「付属品」を必須入力にする設定を行います。

- ① 表示編集画面「新規登録」の編集画面の[必須項目制御]で「入力した値によって項目の入力必須を制御する」にチェックを入れ、[項目]欄で「メーカー」を選択してください。

◀ Point

[項目]欄では制御する項目を選択します。選択できる入力形式は、フラグ、ラジオボタン、ドロップダウンリスト、スタンプ項目、部門選択、社員選択、複数社員選択です。

② [条件を追加]リンクをクリックして、以下の通り設定してください。

必須項目制御 ☒ 入力した値によって項目の入力必須を制御する

項目 * メーカー ▼

項目の必須入力を制御する制御元の項目を選択してください。

判定条件

必須項目制御の判定条件	条件に該当した場合に必須入力にする項目
条件に該当しない場合	☐ 購入日 ☐ 管理部門 ☐ 付属品 ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除
判定条件を入力してください。 入力された条件がここに表示されます。	
必須項目制御の判定条件 ☐ N社 ☐ D社 ☐ P社 ☐ T社 ☐ F社 ☒ その他 ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除 同じレコードに判定条件が複数登録されている場合はいずれかの条件が該当しているときに制御が有効になります。	条件に該当した場合に必須入力にする項目 ☒ 購入日 ☐ 管理部門 ☒ 付属品 ☒ 全てを選択 ☐ 選択を解除

+ 追加 キャンセル

※上位のレコードから判定し、最初に該当した条件が適用されます。

項目	設定内容
必須項目制御の判定条件	「その他」を選択
条件に該当した場合に必須入力にする項目	「購入日」と「付属品」を選択

◀ Point

- 制御する項目と制御される項目は同じレイアウト上に配置する必要があります。
- [条件に該当した場合に必須入力にする項目]には、入力必須に設定できる入力形式で、かつ、フィールド設定にて入力必須項目に設定されていないフィールドを指定できます。

- ③ [追加]ボタンをクリックします。
追加した条件が表示されます。

◀ Point

設定した条件に該当しない場合に必須入力にしたい項目がある場合は、[判定条件]欄の上部で設定します。

必須項目制御 ☒ 入力した値によって項目の入力必須を制御する

項目 * メーカー

項目の必須入力を制御する制御元の項目を選択してください。

判定条件

必須項目制御の判定条件	条件に該当した場合に必須入力にする項目
条件に該当しない場合	☐ 購入日 ☐ 管理部門 ☐ 付属品 すべてを選択 選択を解除
必須項目制御の判定条件	条件に該当した場合に必須入力にする項目
☐ その他	購入日 付属品

[条件を追加](#)

☒ 選択した行を編集 ☒ 選択した行を削除

※上位のレコードから判定し、最初に該当した条件が適用されます。

- ④ [変更]ボタンをクリックします。

第4章 操作制限の設定

操作制限を設定することにより、ユーザのレコード一覧画面やレコード内容表示画面に表示される編集／削除／印刷／Excel 出力ボタンに対して、レコード毎にレコード登録者のみ操作可能にしたり、入力内容によって操作制限をかけたりすることができます。

なお、操作制限を設定した場合、レコード一覧表示画面では、操作不可のレコードに対して編集ボタンや削除用のチェックボックスが表示されなくなります。また、操作不可のレコードのレコード内容表示画面を開いた時に各ボタンがクリックできない状態になり、設定したメッセージが画面上部に表示されます。

ここでは、データベース「PC 管理台帳」において以下の設定を行います。

- ・レコード登録者だけが削除ボタンをクリック可能
- ・「管理部門」がログイン部門の場合のみ印刷ボタンをクリック可能

削除ボタン、印刷ボタンの操作可否を制御

レコード一覧表示画面を初期表示時

PC管理台帳 一覧表示

戻る CSV出力 Excel出力 全て閲覧にする 選択行を削除

☒ 更新をチェックしたい

一覧 標準 表示編集 新規登録

絞り込み リース中のみ 個人用絞り込み

☐ 全てを選択 ☐ 選択を解除

管理番号	メーカー	機種	管理部門	購入区分	原価口	最終更新日時
200604-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2012/12/25 (火) 14:30
201001-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2013/04/18 (木) 11:47
201002-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2010/03/29 (月) 11:22
201003-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2010/03/29 (月) 11:26
201201-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2012/06/15 (金) 17:37
201202-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2012/06/11 (月) 08:15
201203-PC	N社	VALURSTAR	総務課	リース		2012/06/11 (月) 08:20

表示編集画面「新規登録」を初期表示時

PC管理台帳 レコード内容表示

編集 削除 戻る 印刷 参照作成 PC情報出力

表示編集画面 新規登録

レコード登録者以外は削除できません。
自部門で管理しているPC情報以外は印刷できません。

管理番号	201701-PC		
購入日	2017/01/18 (水)	コンピュータ名	PC12
メーカー	N社	機種	RESIDENT
管理部門	総務部		
付属品	マウス、コンピュータ		
購入区分	固定資産		
PC健康診断結果	☐ 良好 ☐ 概ね良好 ☐ 普通 ☐ 問題あり		
廃棄日			
<修理履歴>			
依頼日	内容	金額	依頼業者 返却日
登録日時／登録者		最終更新日時／最終更新者	
2017/01/18 (水) 15:03 中西 義男		2017/01/18 (水) 15:03 中西 義男	

4-1 操作制限の設定

■ データベース「PC 管理台帳」に操作制限の設定をしよう ■

レコード登録者だけが削除ボタンをクリック可能、「管理部門」がログイン部門の場合のみ印刷ボタンをクリック可能にする設定を行います。

- ① データベース「PC 管理台帳」の操作制限設定画面を起動し、[編集]ボタンをクリックします。操作制限編集画面が表示されます。

PC管理台帳 操作制限編集

変更

キャンセル

* は必須項目です。

[編集]ボタン

登録者

☐ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目

☐ 入力項目によって制限する

表示メッセージ

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

[削除]ボタン

登録者

☐ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目

☐ 入力項目によって制限する

表示メッセージ

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

[印刷]ボタン

登録者

☐ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目

☐ 入力項目によって制限する

表示メッセージ

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

[Excel出力]ボタン

登録者

☐ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目

☐ 入力項目によって制限する

表示メッセージ

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

- ② [削除]ボタン欄で以下の通りに設定します。

項目	設定内容
登録者	「レコード登録者のみ操作可能にする」にチェック
表示メッセージ	「レコード登録者以外は削除できません。」を入力

[削除]ボタン

登録者

☒ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目

☐ 入力項目によって制限する

表示メッセージ

レコード登録者以外は削除できません。

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

- ③ [印刷]ボタン欄で以下の通りに設定します。

項目	設定内容
入力項目	「入力項目によって制限する」にチェック
項目	「管理部門」を選択
条件	「ログイン部門」にチェック

項目	設定内容
ラジオボタン	「操作可能にする」を選択
表示メッセージ	「自部門で管理しているPC情報以外は印刷できません。」を入力

[印刷]ボタン

登録者 ☐ レコード登録者のみ操作可能にする

入力項目 ☒ 入力項目によって制限する

項目 * 管理部門

☒ ログイン部門
または

条件 * 検索して指定

<選択してください>

☐ 配下部門を含む

☒ 操作可能にする ☐ 操作不可にする

表示メッセージ 自部門で管理しているPC情報以外は印刷できません。

操作不可の場合に利用者に表示するメッセージを設定します。

- ④ [変更]ボタンをクリックします。

■ 表示編集画面「新規登録」で操作制限設定を有効にしよう ■

上で設定した操作制限設定が表示編集画面「新規登録」で有効になるように設定を行います。

- ① データベース「PC 管理台帳」の表示編集画面「新規登録」の編集画面を起動し、[操作制限を有効にする]にチェックを入れます。

PC管理台帳 表示編集画面編集

変更 削除 キャンセル レイアウト編集

* は必須項目です。

表示編集画面名 * 新規登録

アクセス権限情報 権限を設定

会社	設定範囲	権限
フレンド商事	部門（システム部）	参照・編集可
全会社		参照可

使用方法 ☒ 新規登録に使用する
☐ 編集時に使用する
どちらかまたは双方をチェックしてください。

操作制限 ☒ 操作制限を有効にする
「その他設定：操作制限設定」を有効にする場合チェックしてください。

使用区分 ☒ 使用する ☐ 使用しない

表示項目制限 （入力した値によって項目の表示を制御する）

- ② [変更]ボタンをクリックします。